

会員企業代表者 各位

経営企画・技術部門等ご担当者 各位

一般社団法人日本自動車部品工業会

中小企業施策委員会

中小企業等経営強化法に基づく

「事業分野別経営力向上推進機関」活動

第2回次世代自動車/技術動向に関するセミナーのご案内

- 日本の自動運転開発の現状・問題点と対策 -

平素当工業会の事業につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、自動車業界では、CASE：コネクテッドカー（つながる車＝Connected）、自動運転（Autonomous）、シェアリング（Sharing）、電動化（Electric）といった100年に1度と言われる技術革新に波に対する取組みが求められています。当会では、これら次世代自動車/技術動向に関するセミナーを10月より定期的に開催をしています。

第2回目のセミナーでは、コネクテッドカーや自動運転に関する各種コンファレンスでのご講演等でもご活躍の(株)インテル 事業企画・政策推進ダイレクター兼 名古屋大学 COI 未来社会創造機構客員准教授の野辺 継男 氏を講師にお招きし、「**日本の自動運転開発の現状・問題点と対策**」をテーマに講演会を開催いたします。

皆様には業務ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、奮ってのご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。参加をご希望の方は、**10月19日（金）までに、別添の参加申込書にご記入の上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。**

敬具

記

1. 日時：2018年10月26日（金）14：00～16：00 ※受付開始 13:40～

2. 場所：損害保険ジャパン日本興亜株式会社 会議室

（住所）東京都港区港南 1-6-31 品川東急ビル 10F （地図参照）

3. 内容：

〔テーマ〕日本の自動運転開発の現状・問題点と対策

〔講師〕(株)インテル 事業企画・政策推進ダイレクター兼

名古屋大学名古屋大学 COI 未来社会創造機構客員准教授 野辺 継男 様

<講師プロフィール>

・1983年早稲田大学理工学部応用物理学卒業、日本電気入社。パソコン事業に関連した海外事業、国内製品技術、及びソリューション事業関連で国内外の各種プロジェクト立ち上げ。88年ハーバード大学ビジネススクール留学、同大学 PIRP フェロー。

・2000年同社退職後、オンラインゲーム会社立ち上げを含む複数ベンチャーを立ち上げ、CEO 歴任。

04年日産自動車入社。チーフサービスアーキテクト兼プログラム・ダイレクターを経て、12年同社を退社し、インテル入社。名古屋大学 COI 未来社会創造機構 客員准教授も務める。

4. 対象：日本自動車部品工業会 会員企業
5. 参加費：無料 (定員 60 名)
6. お申込み：
 - ・申込書にご記入の上、事務局までメール又は FAX にてお申し込みください。(10月19日ㄨ)
 - ・定員に達した場合は、締切り前でも募集を終了させていただきますので、予めご了承ください。
 - ・ご入力いただいた個人情報は、当セミナーの運営に関する目的で利用させていただき、それ以外の目的には利用しません。
7. その他：
 - ・3回目の講演会は、12月11日(火)に、(株)アマネク・テレマテックス 社長 今井 武 様を講師にお招きし、「クルマの未来を、外から変える」をテーマ(仮)にご講演をいただく予定です。後日ご案内いたします。

■本件申込み・問合せ先：

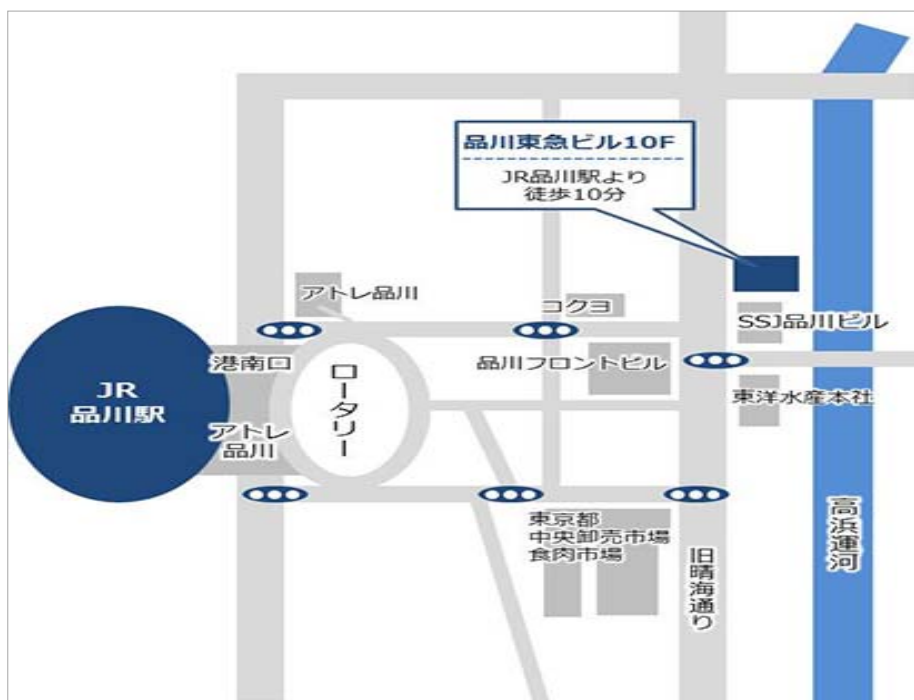
一般社団法人日本自動車部品工業会 業務部 (尾関、河野)

TEL.03-3445-4214 FAX.03-3447-5372

E-mail ozeki@japia.or.jp (尾関)、kouno@japia.or.jp (河野)

会場アクセス

東京都港区港南 1-6-31 品川東急ビル 10F (JR「品川駅」 港南口 徒歩 10分)



セミナーレジュメ案

タイトル	日本の自動運転開発の現状・問題点と対策
概要	昨今のディープラーニングを中心とした人工知能の急速な発展により、欧米ではレベル4と言われるドライバーレスの完全自動運転の実現時期が、レベル3と同様2020年前後と早まっている。その背景を概説した上で、若干異なる市場の方向性や実現時期が想定されている日本の自動運転開発の現状と問題点を明らかにし、その対策としてあるべき姿を考察する。
プログラム (予定)	<p>① 自動運転とは</p> <ul style="list-style-type: none">・自動運転の本質・自動運転の開発に向けた海外の視点 ～米国運輸局（NHTSA）の新定義、欧米企業の対応等・自動運転の実現に向けた課題 ～レベル3の困難性と、レベル4の実現性 <p>② 自動運転の作り方</p> <ul style="list-style-type: none">・見える世界への対応（センサー、アルゴリズム等）・見えない世界への対応（Vehicle IoT, 3次元地図等）・車載ICT/IoTの実装とデータセンター/クラウドとの関係 <p>③ 人口知能とは？</p> <ul style="list-style-type: none">・人口知能の概要（発展、シンクロニシティ、一般利用状況）・自動運転に必要な人口知能（画像認識、深化学習） <p>④ 自動運転への人口知能導入の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・今の日本に圧倒的に足りないもの・ネットワークセキュリティ・プライバシー・倫理と意識 <p>⑤ 今後の展望とまとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・シェアリングエコノミーの発展と車のソフトウェア開発・今後10年～20年に激変する産業構造と対策

以上